

ご寄付のお願い

2010年10月1日から2011年3月31日の間に、ご寄付を頂いた皆様方のお名前です。ありがとうございました。

- 森 一正様
- 澤田悦子様
- 野村明美様
- 野村 裕様
- 東 久雄様
- 湊 千聡様
- 間宮久子様
- 久留須浩一様
- 田中 ミカ様
- 福川 勉功様
- 福川みずほ様
- 政 眞太郎様
- 神本三千男様
- 高松 英夫様
- 今村 順子様
- 石川 直浩様
- 岡村 健 様
- 宇宿 明秀様
- 宇宿 邑子様
- 河野 保夫様
- 岸 恭也様
- 白髪 宏司様
- 笹森 陽子様
- 大橋 十也様
- 森岡 洋史様
- 三木 淑子様
- 掛下 弘子様
- 武山 貴子様
- 武山 美里様
- 鎌之原綾子様
- 医療法人 佐々木医院様
- 九州がんセンター 岡村健様
- 吉永先生の還暦を祝う会
- 今村精肉店 募金箱
- いじちこどもクリニック様
- 鹿児島大学小児科医局 募金箱様
- 医)飯田耳鼻咽喉科 飯田富美子様
- The Berth (アメリカ)様
- 鹿児島県小児科医会様
- フロンティアナイト様
- 国分酒造協業組合様
- 鎌之原 昌様
- 酒匂 睦子様
- 下松 正一様
- 中嶋 雄一様
- 宝納酒会 様
- 宝納酒店募金箱様
- 吉永 正夫様
- 若松 隆男様

- 川畑 清春様
- 由村 和之様



■ **一般寄付** 本法人の活動意義をご理解頂き、ご寄付を賜りますようお願い致します。現金収受の方法は、事務局へお問い合わせ下さい。

■ **個人賛助会員:年会費..... 12,000円**

■ **法人賛助会員:年会費..... 120,000円**

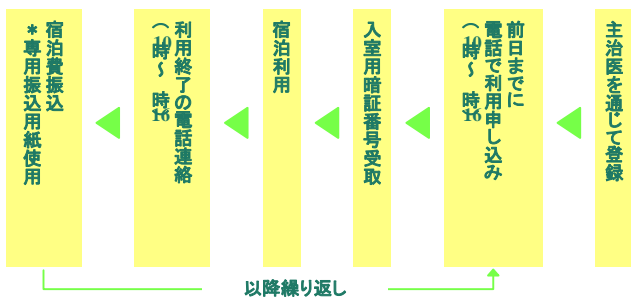
■ **募金箱** 募金箱をお置きいただける店舗・企業・他を募集しております。ご賛同いただける方は、事務局までご連絡下さい。

本法人の活動意義をご理解頂き、活動を支援いただける個人又は企業の入会をお願いしております。入会申込書を事務局へお送り下さい。

「鹿児島ファミリーハウス」のご利用方法

- 鹿児島市内の病院に通院、入院する患児とご家族のための宿泊施設です。
- 基本的な電化製品・台所用品・寝具・他のご用意があります。
- 1,000円/1泊(宿泊人数は何人でもOK)でご利用できます。
- セルフサービスが基本(清掃、ゴミの始末、その他)です。
- ボランティアの人達によって維持管理して頂いております。ご協力を。

ご利用の流れ



*(注)要/事前登録/ご希望の方は主治医にご相談下さい。

篤志家のご協力の下に鹿児島市鴨池2丁目(鴨池電停から徒歩1分)と、荒田2丁目(荒田八幡電停から徒歩5分)にあるビルの部屋(1K、1DK)をご提供頂き、平成19年7月からNPO法人子ども医療ネットワーク運営の鹿児島ファミリーハウスが誕生しました。

お問い合わせ/子ども医療ネットワーク事務局 TEL 099-275-5354

■ お問い合わせ先 ■

認定NPO法人子ども医療ネットワーク本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内

電話: 099-275-5354

FAX: 099-265-7196

E-mail(メール): info@kodomo-iryo.org

活動について・お約束

活動 離島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域に住んでいる子どもさんが、長期間の入院が必要な病気にかかった時に、ご家族を含めて安心して闘病できるように支援する事を目的に設立されました。病気に対する不安や疑問を軽減し、外泊あるいは通院にかかる負担を軽減する為の事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されています。

お約束 皆様からお預かりした個人情報は
 ・会員のご案内の発送以外の目的で使用する事はありません。
 ・ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。

ホームページは随時更新中です

<http://www.kodomo-iryo.org/>

会員の方々と事務局を結ぶ.....

こねっと通信

2011.SPRING VOL.8

- ファミリーハウス
- 健康相談会・巡回診療
- こども救急箱
- ふれあいコンサート
- その他



Save the Children
 私達は離島・へき地の
 難病児を支援します



すべての子どもに適切な小児医療と
 快適な闘病生活を

平成20年11月 南日本文化賞受賞



認定NPO法人
 子ども医療ネットワーク

平成21年10月 自費出版南日本企画賞受賞



私達離島の者を温かく支援して下さった他ボランティアの方々へ直接お会いし、御礼を言いたい次第です。
ありがとうございました。
私も今は子育てで他は見えないですが、いつか皆様や誰かの為にしてあげたいと考えさせられる日でした。

▲今回初めて利用させて頂きました。2歳の息子も夏に一回、今回二回目の手術となりました。私も離島から通っており、この一冊のノートを讀ませて頂き、皆様のご苦労等は計り知れない程、痛感致しました。離島のハンデはこれからも子供の成長に伴い進学等でも先は長いと思えます。ですが、皆様の頑張りのおかげで頂き「私だけじゃなく、まだまだ頑張れる」と、勇気もらいました。有難うございました。

「ファミリーハウス」声
（ハウス常設の寄せ書きノート・管理者の思いを）紹介

▲こんにちは、ファミリーハウスの委託管理をさせて頂いてます、がんの子供を守る会の中間初子です。私の息子も急性リンパ性白血病と言う病気を平成9年に頂きました。現在は中学3年生になり毎日、部活動の野球に頑張っています。現在、私がファミリーハウスのボランティアとしてお手伝いをする事になりましたのは、息子の入院中は自宅が鹿児島市内にありましたので、週末は主人と替わって貰い家に帰り、他の子供達と一緒に過ごす事もでき、息子の外泊許可が出るまで家に帰る事が出来ました。

（右下へ続く）

「子ども救急箱」冊子ご希望の方へ



毎月隔週で南日本新聞に掲載されている「あんしん救急箱」50回・100回を記念してそれぞれ冊子を作成しました。



Vol. 2 「100回記念」

Vol. 1 「50回記念」

▲冊子ご希望の方に実費をお振り込み頂き、おわけしておりますので、詳しくは、ホームページをご覧ください。

平成23年度の活動予定
子ども医療ネットワーク

〈ご注意〉

相談会を開催する場所のみ決定しており、日程を調整中です。決定次第ホームページでお知らせ致しますので、ご確認頂きますようお願い申し上げます。

《相談会開催予定場所》

- 与論町
- 和泊町
- 瀬戸内町
- 西之表市
- 喜界町
- 伊佐市

子ども医療ネットワーク
「第六回定時総会」開催

平成23年2月20日（日）鹿児島市

平成23年2月20日（日）午前時から、鹿児島大学鶴稜会館小会議室に於いて認定特定非営利活動法人子ども医療ネットワークの第六回定時総会が開催されました。当日の出席者は十一名、委任状提出により、総会は適法に成立致しました。

議事は平成22年度の事業報告および平成23年度の事業計画その他が発表され、審議事項はすべて可決承認されました。

子ども救急箱

《けがの手当て》
止血と汚物除去が重要

認定NPO法人
子ども医療ネットワーク会員
松藤凡

（鹿児島大学病院小児科）

2011年1月10日南日本新聞掲載

けがの手当てでは、止血と汚物を取り除くことが大切です。まず止血のために出血部位を軽くおさえます。ガーゼなどを直接傷に当て指でおさえたり、ガーゼの上から軽く包帯を巻きます。ほとんどの出血はこれだけで止血できます。指や腕を強く縛ると、傷以外にも血液が流れなくなり、中途半端な縛り方ではうっ血し、出血が増えることもあります。

※ 「子ども救急箱」の記事は2006年4月から隔週に掲載されています。

傷の中には小石、泥、木片、ガラス片などの異物が残ると、細菌が増殖し傷が膿む原因になります。傷の治りも遅く、治っても傷が目立つようになるため、流水（水道水）で傷の周りの泥や液体、傷の中の異物をしっかり洗い流します。その後、清潔なガーゼなどで傷を覆います。除去できない異物や痛んだ組織は、外科的に取り除く必要があります。

消毒薬は殺菌効果がありますが、期待できませんが、正常組織にも影響するので傷周りの皮膚に塗る程度にし、茶色のポビドンヨード（イソジン）や、無色透明のクロルヘキシジン（ヒビテン皮膚消毒液）は医療機関でも使いますが、うがい用や器具消毒用のものは、高濃度なので使わないでください。過酸化水素オキシドールは泡が出て、ごみや異物を押し出します。消毒作用はほとんどなく、焼けるような強い痛みがあります。マキユロクロム（赤チン）は、消毒効果はあまり強くありません。パウダーのような薬剤は傷にべりつくることがあります。殺菌力も強くありません。

刺し傷は、化膿しやすいため注意が必要です。特にさびたきや泥、汚水が付いた木片などによる傷は、傷口は小さくても奥の方に異物が残ることがあります。破傷風にかかる危険性も高いので病院を受診してください。